【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第５区分
【発行日】令和2年2月13日(2020.2.13)

【公開番号】特開2019-93952(P2019-93952A)
【公開日】令和1年6月20日(2019.6.20)
【年通号数】公開・登録公報2019-023
【出願番号】特願2017-225917(P2017-225917)
【国際特許分類】
Ｂ６０Ｒ　21/239　(2006.01)
Ｂ６０Ｒ　21/205　(2011.01)
【ＦＩ】
Ｂ６０Ｒ　21/239
Ｂ６０Ｒ　21/205

【手続補正書】
【提出日】令和1年12月26日(2019.12.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１６】
本発明の一態様によるエアバッグでは、前記エアバッグが膨張する前の状態においては、前記バルブクロスの前記一端側は折り畳まれ、仮留め部材によって前記メインバッグに仮留めされている。前記仮留め部材は、前記バルブクロスの上部及び下部をメインバッグに縫着するテアシームであってもよい。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４６】
図６ｃは、バルブクロス１１が図６ｂの形態でメインバッグ２に縫着された状態を示している。図６ｂ，６ｃの状態において、第２ベント口１２は、メインバッグ２のベントホール８と重なった位置に配置されている。図６ｃの通り、蛇腹折り部分１１Ｔと、それに引き続く橋絡部１６，１７の途中までの部分に被さるようにガイドクロス２０がメインバッグ２の内面に沿って配置されている。ガイドクロス２０には、ベントホール８と重なり合う位置に開口２５が設けられている。開口２５とベントホール８とは略同一大きさとなっている。
【手続補正３】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１１】
請求項１０のエアバッグにおいて、前記仮留め部材は、前記バルブクロスの上部及び下部をメインバッグに縫着するテアシームであることを特徴とするエアバッグ。